

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	旧盛岡競馬場跡地整備に係る調整事務			事業コード	0044
担当課等	所属名	市長公室 企画調整課	担当係名		
	課長名	市長公室 企画調整課	担当者名	藤澤 正和	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	うるおいのある公園・街路樹の確保	コード 4
	基本事業	公共空間の緑化推進	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 6目 旧盛岡競馬場跡地整備事業 (001-04)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 10年度～)					
事務事業の概要	整備スケジュールや用地買戻しの進行管理、跡地の維持管理など旧盛岡競馬場跡地整備の推進に係る各種調整を行う。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成8年4月に新庄字八木田地区に新競馬場がオープンしたことから、上田字堤頭地内にある旧競馬場の跡地利用について検討を始め、平成10年度に「旧盛岡競馬場跡地利用計画」を策定し、13年度に「旧盛岡競馬場跡地整備基本設計」を取りまとめ、旧競馬場跡地全体(約21ヘクタール)のうち、市街化調整区域(約17ヘクタール)を対象に整備を進めることとした。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
跡地利用に係る市の対応、利用計画、用地取得等について、市議会でも多くの質問(21年6月定例会:今後の土地取得計画と暫定開放について、同年6月定例会:進捗状況について、22年3月定例会:道路部分の土地取得状況及び整備計画について)が出されている。また、地元町内会をはじめ、市民や各種団体からも、跡地の利用について要望や意見が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
各ゾーンにおける整備事業の進捗により、各種調整業務及び維持管理業務は縮小が見込まれる。また、跡地は市街化調整区域となっており、公共的施設整備であっても原則として開発許可が必要であることから、自由広場ゾーンほか未整備部分の活用に係る制約が大きくなっている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	旧盛岡競馬場跡地 関係機関、関係課、地元町内会など協議説明対象機関及び団体	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 整備対象面積	単位	ha
				B. 取得が必要な用地残面積	単位	ha
				C. 協議等対象機関・団体数	単位	機関・団体
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・関係課及び外部関係機関との調整 ・地元町内会等への事業説明 ・用地買戻しに係る財産取得事務 ・跡地管理事務(除草等) ・整備スケジュールの見直し ・自由広場ゾーン活用の検討(整備基本構想の策定) 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・関係課及び外部関係機関との調整 ・地元町内会等への事業説明 ・用地買戻しに係る財産取得事務 ・跡地管理事務(除草等) ・自由広場ゾーン活用の詳細検討	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 用地に関する協議交渉回数	単位	回
				B. 整備に関する協議回数	単位	回
				C. 地元への説明回数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	保健福祉ゾーンや公園ゾーンなどの各ゾーンの整備事業が円滑に行われ、跡地利用の具体化が進むようにする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 取得済用地面積	単位	ha
				【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】		
				B. 立地施設等整備内容が具体化した面積	単位	ha
	【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】					
	C.	単位				
	【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】					
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	公共空間が緑化されている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	街路樹のある道路延長(単位:km) 公的緑化推進制度の利用件数(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	整備対象面積	ha	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	年度
対象 指標B	取得が必要な用地残面積	ha	12.2	4.4	4.2	4.2	4.0	3.4	29年度 0
対象 指標C	協議等対象機関・団体数	機関・ 団体	28	26	25	25	24	24	年度
活動 指標A	用地に関する協議交渉回数	回	24	32	10	18	10	10	年度
活動 指標B	整備に関する協議回数	回	14	25	20	17	20	20	年度
活動 指標C	地元への説明回数	回	10	14	10	4	5	5	年度
成果 指標A	取得済用地面積	ha	4.2	11.9	12.1	12.1	12.3	12.9	年度
成果 指標B	立地施設等整備内容が具体化した面積	ha	11.9	11.9	17.1	17.1	17.1	17.1	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2,389	1,127	1,666	74	1,552	1,552	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	2,389	1,127	1,666	74	1,552	1,552	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	2,389	1,127	1,666	74	1,552	1,552	*****
	延べ業務時間数	時間	350	450	400	500	500	400	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,400	1,800	1,600	2,000	2,000	1,600	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	3,789	2,927	3,266	2,074	3,552	3,152	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 公園ゾーンを中心とした跡地利用の具体化は、公園緑地を増やすことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市が策定した跡地利用計画の推進に係る事業であり、妥当である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 整備対象面積は、各ゾーン(公園、保健・福祉、環境、ミニバスターミナル、自由広場及び道路)で構成されており、現状で妥当である。また、取得に必要な用地残面積は、盛岡広域土地開発公社の所有地である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 全体調整に係る事務であり、現状で妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 自由広場ゾーンの整備を進めることで、成果の向上が図られる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 地元と調整する機会が少なくなること、各ゾーンの整備計画との調整不足による事業実施の遅れ等が懸念され、円滑な跡地利用に影響を及ぼす。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 除草等の跡地の維持管理経費のみであり、その他の事業費は計上されていないため、削減の余地はない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 自由広場ゾーンの整備について、基本設計以降は整備担当課が行うこととなることから、当事業は財産取得事務等の全体調整事務のみとなり、業務時間数の削減が見込まれる。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: _____
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: _____

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 自由広場ゾーン整備に係る詳細検討において、整備担当課や維持管理方法の方針を決定し、来年度以降の整備が滞りなく行われるようにする。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) すり鉢状の地形, 既存インフラ機能の維持など, 課題が多い。基盤整備担当課等と整備手法の検討を行う。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>関係課, 関係機関との調整や地元町内会への説明等を行い, 懸案であった自由広場ゾーンの整備基本構想を取りまとめたところである。</p>											
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										
													
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>自由広場ゾーンについて, 詳細検討を行い, 24年度の基本計画, 25年度の実施計画, 26年度からの整備に円滑につなげていく必要があることから, 整備担当課と適切に連絡を取りながら, 整備手法の検討を行う。</p>												